

消石灰系仕上げ塗材

漆喰塗料 アレスシックイ

系 統 消石灰系仕上げ塗材

適用規格 —

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

特 長

- VOCをほとんど含みません。
- ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼンは、配合していません。
- 刷毛・ローラーで塗装可能です。
- EPなどに比べ、低臭です。
- 表面に発生する結露を抑制します。
- CO2削減効果があります。
- 消臭効果があります。
- ホルムアルデヒド吸着、無害化する機能があります。
- 強アルカリ膜による、抗菌性・抗ウイルス性を有します。(有機系薬剤を配合してません。)
- JIS表示はしませんが、JISA6909内装薄塗料Lの規格に合格する性能を有します。
- F☆☆☆☆表示製品です。
- 防火材料認定品  
 NM-8572 (有機質砂壁状塗料塗り/不燃材料)  
 QM-9812 (有機質砂壁状塗料塗り/準不燃材)  
 RM-9361 (有機質砂壁状塗料塗り/難燃材料)

塗料性状

項 目	内 容
1 荷 姿	4kg, 15kg
2 混 合 比	—
3 色	白、淡彩色(明度90以上)
4 つ や	つや消し
5 仕 上 が り 感	平滑
6 塗 料 比 重	1.48 (白)
7 溶 剤 比 重	1.00 (上水)
8 加 熱 残 分	57% (白)
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10 労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	—
11 有 機 則 / 特 化 則	—
12 消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	非危険物
13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	—

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

塗装条件

塗装方法	刷毛1回目	刷毛2回目	ローラー1回目	ローラー2回目	
希 積 率	5~10%	5~10%	5~10%	5~10%	
標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	0.16	0.20	0.16	0.20	
希 積 剤	上 水				

※) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。  
 ※) 標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

項 目		温 度	
		23℃	5℃
標準塗装間隔	最 短	4 時間	5 時間
	最 長	7 日以内	7 日以内
使 用 時 限		—	—

主な適用素材

コンクリート、石膏ボード、スレート、モルタル、塩ビクロス、ペンキ下地クロス

主な適用下塗塗料

アレスシックイシーラーネオ

主な適用中塗塗料

主な適用上塗塗料

使用上の注意事項

- 開缶後ハンドミキサーでよく攪拌して中身を均一な状態にしてから使用して下さい。又希釈した際も同様にハンドミキサーで攪拌し均一な状態にして下さい。
- 低温(5℃以下)及び高湿度(85%以上)の場合は、施工を避けて下さい。
- モルタル・コンクリート素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製(H-2)または5%以下(ケット科学社製HI-500シリーズ:コンクリートレンジ)まで乾燥させた後、適切な下塗りを塗装後に本品を塗装して下さい。
- 夜間などは気温の低下によって結露し、塗面にシミが付いたり、塗膜をタレさせたりする事がありますので、冬期や雨天の塗装には特に注意して下さい。
- ヤニ等の汚れは中性洗剤などで十分に除去して下さい。通常の塗料に比べヤニのブリードが著しく発生します。下塗りにヤニ止め塗料を塗布してもブリードが発生する恐れがありますので注意して下さい。
- 強アルカリ材質です。保護具を必ず使用して下さい。
- 本製品が付着したウエスなどは、必ず水に浸して処理して下さい。
- アルミ材質との接触を避けて下さい(アルミが腐食します)。特にアルミ製容器への移し変えは絶対に避けて下さい(容器が破裂する恐れあり)。
- 一般的な水性塗料に本製品が少量でも混入するとゲル化しますので、絶対に避けて下さい。刷毛、ローラーなどの共用も避けて下さい。
- 密閉環境下での塗装は避け、養生中も十分な換気を行って下さい。(乾燥が遅れ艶ムラが発生します。)
- 塗装時及び塗装後に高湿度環境に置かれると、本来の仕上がり、機能を損なう恐れがありますので避けてください。
- 布クロスには、塗装しないでください。
- 直射日光、高温(40℃以上)及び低温(5℃以下)での保存は避けて下さい。
- その他の注意事項については、SDS(安全データシート)を参照して下さい。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめご了承ください。